

# とままえ

1

No. 617



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち



## まちひと百景

### 何かを得ようと目を輝かせて！

11月25日(日)スポーツセンターでNHKジュニア剣道教室が開催され、町内外より多くの少年剣士たちが集まった。

日本選手権や世界選手権で優勝した栄花直輝さんが講師、本町出身の野崎孝史さんがアシスタントということもあり、緊張感あふれる中、指導が行われた。

栄花さんは「今日は一緒に心を一つにして取り組むことができた。皆さんはやればできるし、無限の可能性があるので、夢や目標を持つことでしっかりとした道が見えるので、夢や希望をもってほしい」と参加者に伝えた。

何かを得ようと目を輝かせながら、真剣に講師の話を受けている少年剣士たちの姿が印象的だった。

- 森町長新年あいさつ… 2
- 星野議長新年あいさつ… 3
- 特集「今冬の節電を考える」… 4
- 苫前保育園児が勤労感謝の慰問ほか… 5
- 標語コンクール入選者に賞状伝達ほか… 6
- 古丹別小6年生に租税教室ほか… 7
- 学びの広場… 8
- 介護保険ガイド… 9
- 国民年金・Dr 小野ほか… 10
- 住まいる情報… 11
- ちびっこギャラリー… 12

### まちの人口

人口/3,534人 (男/1,671人/女/1,863人)  
世帯数/1,638世帯 (11月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

# 町民と共に 「新しい苦前町づくり」に向けて



苦前町長 森 利男

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新春をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げますとともに、日頃からそれぞれのお立場でご活躍され、町政に対しご指導、ご支援をいただいておりますこと、心から厚くお礼申し上げます。

さて、近年、特に地域社会の最前線で住民サービスを担う市町村の役割と責任は、益々、大きいものと思っております。まちづくりの原則は「自分たちのまちは、自分たちでつくる」ことであることから、これからの時代は市町村も日本を支えられるような存在価値を持つことであり、今まで以上に民間の感覚を生かしながらまちを経営する体制とし、行政改革、財政再建を進めていくことが重要であると思われまます。

また、国と国との枠組の壁を越えたグローバル化の波は、北海道は勿論のこと、本町の基幹産業である農林水産業を直撃しています。厳しい国際経済の価格競争に加え、関税の自由化、TPPへの参加議論など、本町の一次産業は大きな変革を求められています。

このような歴史的な大変革期の中で本町も

まち全体をどう構築していくのか、地域力を発揮し、住民が安心安全に暮らせる豊かな社会・まちの個性を生かした多様性と創造性にあふれる社会の実現に積極的に取り組んでいくこととしています。

町財政の健全化は完了したことから、町民各位に直接関連する新しい政策を進めておりますが、日本の人口は減少しておりますので、子どもに視点をあてた政策も重要であります。

本町は現在、小学生までの医療費の無料化や保育料の減免、図書の実等も進めておりますが、今後に向けてさらに子育てがしやすい環境を整えていくこととしていきます。また、住みよい住宅環境の整備の一環として、住宅改修や新築住宅の助成も実施してまいります。

さらには本町の主要産業であります農業、漁業、商工業ですが、昨年は農業分野については、町も助成して進められた雪冷ハイブリット倉庫も完成しました。漁業分野においても、北るもい漁協苦前支所の荷捌所も雪を活用した同様の施設が完成しておりますので、鮮度保持等グレードを上げた農水産物の販売がされているところでもあります。加えて商工業についても、町が助成して実施されたプレミアム地域振興券の活用や古丹別市街地の下水道事業をはじめ、町の事業は勿論ですが、国や北海道の事業もできるだけ多くの事業展開をいただくことで売上等の増加につながることから、要望陳情活動を進めてまいります。

今年、更に風力発電の普及に向けた送

電線導入についても、積極的に運動を展開してまいります。また、新たな試みとして高齢者の足の確保のため、戸口から戸口までのデマンドタクシーの試験運行も計画したいと思っております。さらに町民による「苦前町の宝百選」を選定し、それを生かした地域振興策を町民と協働して推進してまいります。

小さいまちといえども高い志を持ち、活気に満ちあふれる心豊かで、いつも夢と希望をもち、困難に向かうたくましさをもって、頑張っていくこととしています。

豊かなまち、素晴らしい町民力、そして本町の地域資源を一体となつて磨きつなげ、大いに夢の実現に向かって本町の魅力を高めていくこととし、「人が輝き躍動するまち苦前町」であり続けるために全力を尽くします。

本年は、皆様にとってご健勝で幸多い素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。



## 新年のごあいさつ

苦前町議会議長 星野 恭司

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を町民の皆様とともに迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。新しい年が苦前町に繁栄をもたらす素晴らしい年になりますよう心から願っております。

顧みますと昨年農業では、道産米の食味が向上し、全国で評価が高まったことで全銘柄平均の相対取引価格が割り増しとなり豊作であったことは幸いであったものの、今後も価格が高止まりするかは不透明であります。国のコメ政策は営農技術を磨き、頑張った人が報われる政策でなければなりません。

また、漁業では、猛暑による大きな影響もなく、ホタテは目標計画を上回る漁獲高となり幸いでしたが、気候の変動による海水温の上昇などが各地で発生しており、本町もその影響が懸念されるところであります。

国内情勢をみますと景気は、海外経済の減速で企業活動が落ち込むなどまだまだ不透明な現状が続くことから、回復には成長戦略の実現や円高是正などの景気浮揚策が必要と感じます。また、国においては震災からの復興、福島再生を最重要かつ最優先課題として対応する一方、財政健全化目標の達成のため基礎的財政収支対象経費について、恒久的な歳出削減を行うとして歳出抑制の方針を示していることから、まだまだ厳しい状況が予想されます。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、先行きが不透明な社会経済情勢にあつて、国の深刻な財源不足、地方分権の進展により厳しさを増す中、住民にとつての身近な町の役割は一層重要になっております。苦前町政においては、少子高齢化への対応、産業の振興、商店街の活性化などの課題が山積しております。このような様々な課題を抱える中、私も議決機関といたしましても、果たすべき役割及び責務の重要性は、ますます増大してきております。

議会の役割は、予算案などの議決のみでなく、行政へのけん制や監視、政策提案と同時に議員自らが条例案を立案するなど、町民の皆様の声を行政に反映させなければなりません。

町民の代表である町議会では、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は町民の皆さんであることを第一に、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、努力してまいりたいと考えております。

結びに町民皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後も一層ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。苦前町議会議長を代表して新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も宜しくお願いいたします



### 議会議務局

事務局長 伊藤 信行  
 総務係長 平井 裕美  
 書記(併任) 島田 秀美  
 ” 宮野 亘  
 ” 坂本 政恵

議長 星野 恭司  
 副議長 間宮 英明  
 総務産業常任委員会  
 委員長 青木 幸隆  
 副委員長 西 大志  
 阿部 俊一  
 田沢 收  
 小倉 哲志  
 千葉 勇一  
 間宮 英明  
 星野 恭司

